

本校における「働き方改革」の推進について

平田中学校

時間外在校等時間の削減状況

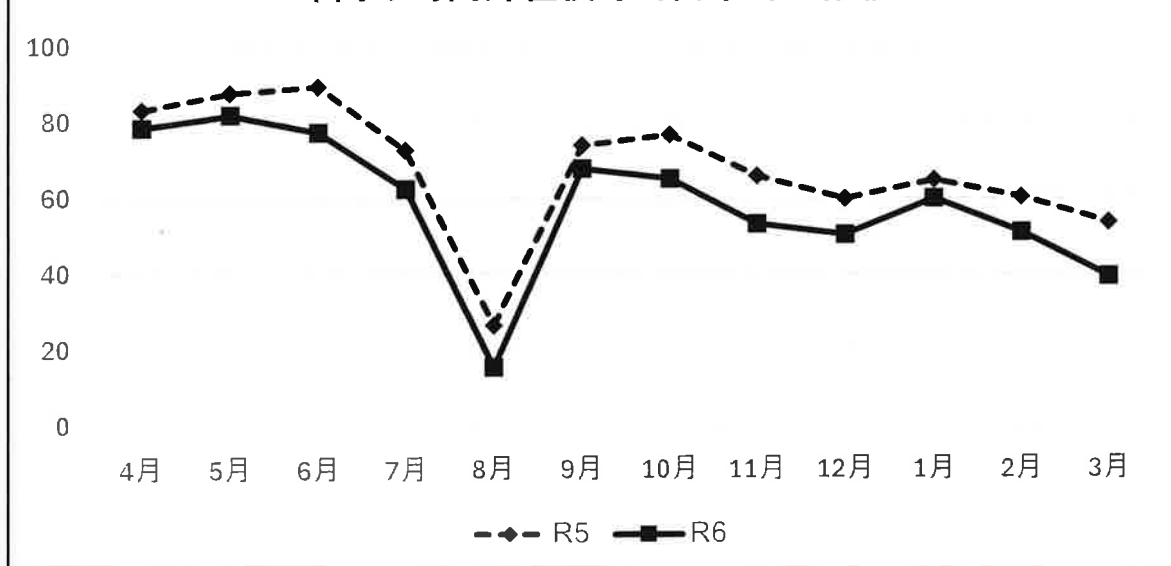
【1か月あたりの45時間超の割合】（全教職員に対する）

年度	区分	本校	県平均
令和5年度	月45時間超	74.1%	44.5%
令和6年度	月45時間超	67.1%	41.4%

【教職員一人あたりの1か月の平均】

年度	本校	県平均
令和5年度	68.0時間	44.5時間
令和6年度	58.6時間	41.7時間

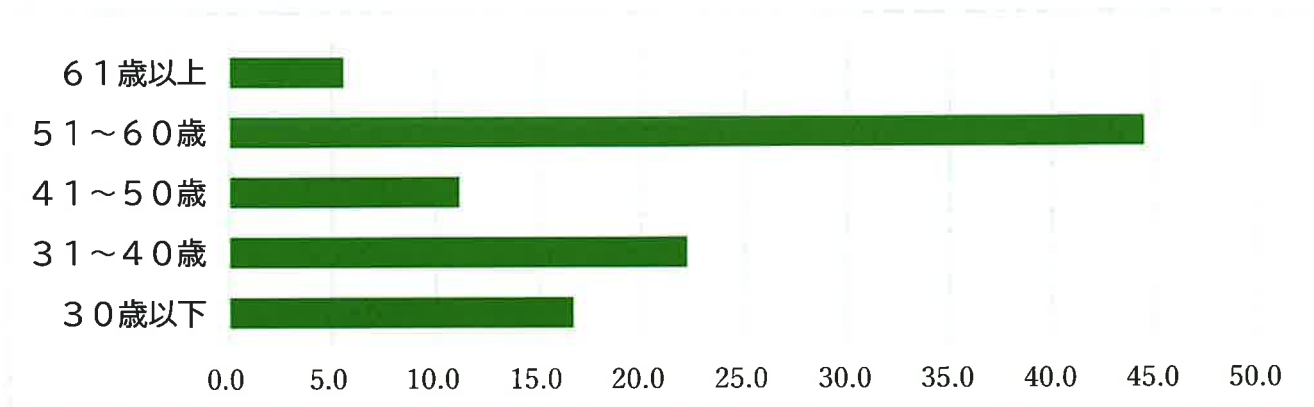
年間の時間外在校等時間平均の推移



本校の主な取組

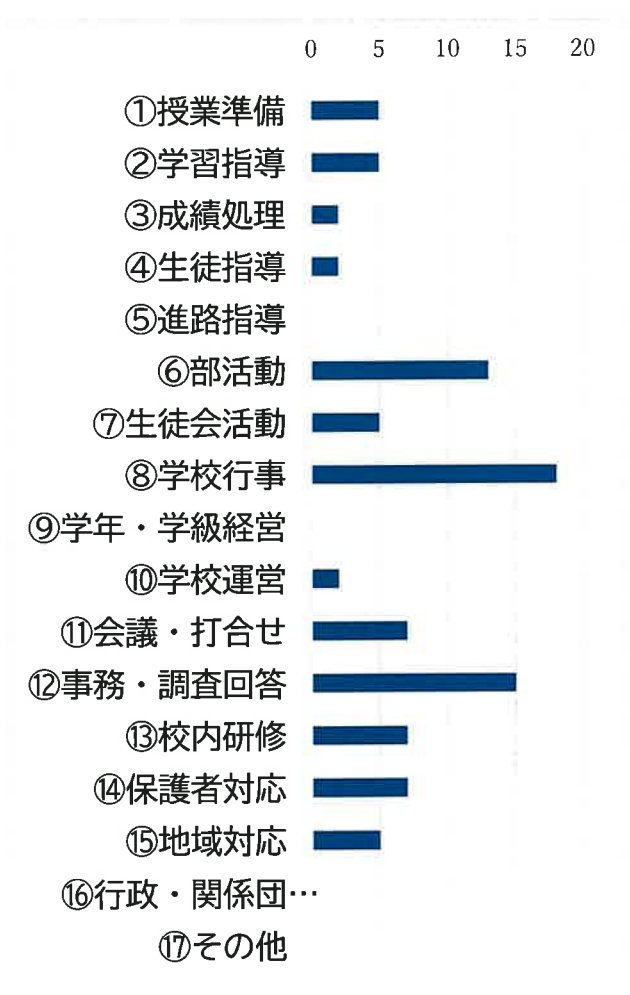
業務の見直し・効率化	校務の効率化
・ 出退勤時刻のデジタル管理 ・ 学校行事や行事内容の精選 ・ 通知表様式の見直し	・ 欠席連絡のデジタル化 ・ 学校評価アンケートのデジタル化 ・ 配付文書のデジタル化 ・ メール送信による学校情報の抵抗 ・ 授業や家庭学習でのICT活用
勤務態勢等の改善	学校・家庭・地域の連携・協働
・ 学校閉庁日の設定 ・ 長期休業中の時差出勤制度の設定 ・ 留守番電話メッセージ対応 ・ 業務アシスタントの配置 ・ ICT支援員の配置	・ キャリア教育における外部人材の活用

令和7年度 平田中学校教職員の年齢構成割合



○教職員が時間をかけたいと思う業務

●改善（精選・平準化等）が必要であると思う業務



【現状と課題】

時間外在校等時間は、年々少しずつではあるが減少してきている。しかし、県平均に比べると、かなり多いという状況は変わっていない。

今後は、これまでの取組を継続していくとともに、教職員から改善が必要であると思う業務に挙げられたものについては、精選・平準化が図られるよう、具体的な方策を模索していきたい。また、本来、教職員が専念すべき業務に時間がかけられるようにしていきたい。